



「災害や事件、事故後のこころのケア～PFA (サイコロジカル・ファーストエイド)を学ぶ～」

災害や事件・事故は、その出来事自体が外傷体験となり得るだけでなく、大切な人との死別や喪失体験、生活環境が大きく変わるといった精神的ストレスをもたらし、しばしばメンタルヘルスに影響を及ぼすと言われています。そのため、被災者・被害者支援においては、職種を問わず、誰もがその人の心理を理解し、自己決定の力を奪わない姿勢が求められます。

PFA は、臨時的・専門的な介入ではありません。自然災害時に限らず犯罪や事故の被害者に関わる時、どのように声をかけたり、どんなことに気を付けて接したらよいか、そのような疑問に答えるための心理的応急処置です。災害だけではなく、事件、事故等、その出来事にあっただけで苦しんでいる人に接する場面のある方（例えば、避難所で支援をする方）など、誰に対しての支援にも役立つ汎用性の高いスキルです。

講師は国内外の大災害時等の様々な対象への豊富な支援経験を持ち、今年1月に起こった能登半島地震に関する話題も盛り込んでいただく予定です。ぜひ、この機会に災害に備えるとともに、日々の支援に活用して下さい。

日 時 令和6年7月23日（火）午前10時から午後5時まで

場 所 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階 特別会議室

内 容 講義及びグループ演習「災害や事件、事故後のこころのケア～PFA
(サイコロジカル・ファーストエイド)を学ぶ～」

講師 大澤 智子氏（兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹・日本トラウマティックストレス学会理事）

対 象

- (1) 大阪府保健所職員、災害時等の対応に従事する大阪府職員
- (2) 市町村の保健・福祉、災害時等の対応に従事する職員（大阪市・堺市除く）
- (3) 大阪府内の精神科病院、精神科病床を有する病院、精神科診療所等の職員
- (4) 大阪府内（大阪市・堺市除く）の相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所、障がい者支援施設、地域活動支援センター等の職員

[定員48名]

[申込み方法] [研修申込フォーム](#)から直接お申込みください。※FAXでの申込み不可

① 氏名 (ふりがな) ② 職種 ③ 従事年数 ④ 所属機関名 (例: 大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター) ⑤ 所属課名 (例: 事業推進課、予防課、障がい福祉課) ⑥ 電話番号 ⑦ 受講動機 ⑧ 被災者・被害者支援活動の有無 ⑨ 講師への質問 等

[申込み先] 「こころのオアシス」 <http://kokoro-osaka.jp/>

(「研修」→「令和6年度災害時等こころのケア研修」→
「[研修申込フォーム](#)」)

※大阪府行政オンラインシステムを初めて利用される場合は、新規登録してから、申込み手続きをしてください。

[締切り] 令和6年7月9日(火) 17時

* 申込多数の場合、参加人数を調整します。

* 受講決定者には、申込期限終了後に受講決定通知をメールで送付します。受講できない場合は、締め切り後すみやかに連絡します。

[問合せ先] 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当: 西・南

■ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

